参考書式

近隣関係者との協議（話し合い）の経緯　　※協議は対面で行い、1回の訪問で協議ができなかった場合は複数回訪問すること。

※区分はA（土地所有者）、B（建物所有者）、C（居住者もしくは使用者）のうち該当するものを記載する。

No.	敷地地番	関係者氏名	区分 ※	協議した日	協議した相手	協議方法	近隣関係者からの意見及びそれに対する対応	協議した者 （事業者側）
1	大手町1-5	○○	A、B、C	令和6年10月1日	○○の妻	訪問し持参した資料にて説明	特に意見無し	事業担当者□
2	大手町1-6	×× ㈱□□	A、B C	令和6年10月2日 令和6年10月2日	本人 総務部　担当者△	自宅が遠方のため資料を郵送 電話及び訪問にて説明	10/10現在(中高層確約書提出日)で関係者より意見等の連絡はなし 工事車両の出入りに注意して欲しいとの話をいただいたので、別途で工事車両のルートがわかる図面をお渡しした。	事業担当者□ 事業担当者□
3	大手町2-1	△△	A	令和6年10月2日	本人	10/1市内の自宅を訪問したが不在 10/2再度訪問したが不在のため資料を投函	10/10現在(中高層確約書提出日)で関係者より意見等の連絡はなし	事業担当者□